



あたたかい医療をみんなの手で

Human

“きみつだより”

パール・ブリッジ号

NO.37 平成13年10月20日発行
編集責任者 茅野 嗣雄
編集者 “HUMAN”編集委員会

玄々堂 君津病院 〒299-1144 君津市東坂田4-7-20 ☎0439-52-2366(代) URL http://www.tokyo-bay.ne.jp/~gengendo/

玄々堂君津病院新院長に 武部嗣郎副院長昇格

病院・ニッパリニッパ 院長人事発表、新体制に

九月三日(月)、臨時部課長会議が開かれ、席上、茅野嗣雄常務理事より、「特定医療法人新都市医療研究会君津会理事(池田貞雄理事長)の決定として、玄々堂君津病院新院長に武部嗣郎現副院長、玄々堂木更津クリニック院長に茅野嗣雄現副院長、坂田クリニックス院長に永島嘉嗣現副院長が任命された」と発表された。今回の人事は十月一日より実施され、来年創立三十周年を迎えるにあたり、新体制



で臨むことになった。高田眞行名誉院長は、引き続き君津グループ全体について後進の指導を行う。ちなみに当法人君津グループは、玄々堂君津病院、玄々堂木更津クリニック、坂田クリニックス、木更津訪問看護

ステーション、君津訪問看護ステーションの五施設からなり、これは君津グループ理事会により管理運営が行われ、直属する管理協議が君津グループの実質上の問題を討議決定する機関となっている。

より良い地域医療をめざして

玄々堂君津病院院長 武部 嗣郎



私の生涯の医療態度を決めた出来事をまずお話しします。昭和五十年代前半この病院でのことです。腰から足にかけてズーンすると毎週のように来ていたおばあさんがいました。私は毎回痛いところに実に細かく注射などをしてあげていました。ところが急に来なくなり心配していたのですが、三ヶ月くらいしてまた見えまし

た。どうしたのかと聞いたところ、近くに病院が出来てそっちにいったがよく説明してくれないのでこっちに来たというのです。私は感動しました。自分の病気に必死で、少しでもいい医療を望んでいるのだなと、この年寄りが好きになりどんな患者さんも大切にしなければと思いました。みんな一生懸命なのです。

縁あってこの病院に奉職し創設者の世代から次の世代への委譲が私を經由して行われます。現在の医療態勢はもろろん継続しますが、患者さん一人一人の心まで大

切にする医療を展開します。患者の自己決定権に基づく情報開示を進め、多様で先進的な医療を選択し提供します。安全対策を進めます。多くの人の意見を聞き改善に努め、気持ちよく安心してかかれる病院にします。総医療費を削減しても、病気が減ったり医療レベルが低下するわけではないので病院が益々選ばれるようになりま

腹腔鏡下副腎摘出術行われる

当院では腹腔鏡下胆嚢摘出術は多くの経験がありますが、このたびはじめて腹腔鏡下に副腎腫瘍を摘出しました。副腎は後腹膜という大動脈の横の深いところにあるため、腫瘍が良性で小さくても開腹手術では手術創を大きくしないと摘出が困難でした。腹腔鏡下に手術をすることによって、約1~2cmの傷が3個ですむため、患者さんは非常に楽に治療を受けることが出来ます。この手術は全国的にもどこの病院でも出来るものではありません。今回は東京女子医大腎センター泌尿器科の八木沢隆先生に手伝っていただいて問題無く摘出することが出来ました。私達は今後もこのような侵襲の小さい患者さんに楽な手術を積極的に取り入れて治療に役立てたいと考えております。

病棟診療部長 大崎 慎一



内容ますます充実して

九月十三日、君津市民文化ホールに於いて、第十一回玄々堂君津病院研究発表会が開催された。研究発表の部では、栄養科、臨床工学科、ホスピタルマネージャー委員

第十一回玄々堂君津病院 研究発表会開催

九月十三日、君津市民文化ホールに於いて、第十一回玄々堂君津病院研究発表会が開催された。研究発表の部では、栄養科、臨床工学科、ホスピタルマネージャー委員



救助袋による避難訓練-4階から無事到着

九月六日、大規模地震災害を想定した防災訓練が行われた。入院患者さんの安全確保措置、救急患者さんの受け入れ準備の訓練が行われた。また地震による火災発生を想定し、火災報知器を作動させ消防署への通報訓練、救助袋による避難訓練も行われた。今年度は、新宿で起きた火災など突如の災害に見舞われるケースが多く、訓練も真剣そのものであった。

大崎病棟診療部長 木更津君津薬剤師会で講演

平成十三年八月三十日、医歯薬会館において君津木更津薬剤師会研修会が開催された。講師として当院から大崎病棟診療部長が、特別講演「腎不全の治療について」と題して講演を行い、昨年から当院で行われている腎移植や透析療法の実態を解説した。研修会に参加



熱心に耳を傾ける参加者

中学生による 「職場体験学習」

平成十三年七月十一~十三日、

平成十三年度県内病院総局長・看護部長・事務長会議が九月十二日、千葉県教育会館で行われた。医療の安全確保のための事例報告として、当院大崎看護部長が「安全対策への取り組み報告」を発表した。昭和六十年の事例報告ノート記入からはじまり、安全対策委員会のこれまでの取り組みについての内容であった。

県内二九九病院中二四三病院の出席があり、内、看護関係者二五〇名、事務長一七〇名で、終始盛況のうちに閉会した。

子供110番の家

坂田小、大和田小、周西中より委嘱あり
君津市と君津市PTA連絡協議会では、危険を感じたことも通が、助けを求め駆け込むことの出来る家「こども110番の家」活動を推進し、地域の諸団体に受け入れ先としての協力を求めている。当院にも、7月23日、坂田小、大和田小、周西中より協力依頼があり、「こども110番の家」としての活動の一端を担うことになった。

大神看護部長 安全対策について講演

平成十三年度県内病院総局長・看護部長・事務長会議が九月十二日、千葉県教育会館で行われた。医療の安全確保のための事例報告として、当院大神看護部長が「安全対策への取り組み報告」を発表した。昭和六十年の事例報告ノート記入からはじまり、安全対策委員会のこれまでの取り組みについての内容であった。

セーフティーボックス設置

平成十三年七月より全病棟の床頭台に入院患者様の盗難被害防止を目的としてセーフティーボックスが設置された。

第11回 玄々堂 君津病院研究発表会

平成13年9月13日 君津市民文化ホールにて盛大に開催

◆◆◆プログラム◆◆◆

- 第一部 研究発表の部 座長 木村純子教育婦長
- 栄養科
 - 臨床工学科
 - ホスピタルマナー委員会
 - 緩和ケア研究会
- 第二部 特別講演の部 座長 茅野嗣雄院長
「生と死は隣り合わせ」 吉川透先生

終末期患者への食事の アプローチ

栄養科 中村悦代



病気に對する精神的ストレスが食欲に影響を与えるなか、少しでも美味しく食べていただけるよう栄養科では様々な工夫を行って

実行委員長挨拶



地域と一体となった医療サービスを目指す当院では、その一環として、年一回各職域職員がより良い医療サービスを目指して取り組んでいる研究を発表したり、特別講演として各分野の第一人者の講演を玄々堂君津病

ます。特に終末期を迎える患者さんにとって食事を全量摂取出来ることは生きる喜びにもつながります。

今回、患者さんに聞き取りによる嗜好調査、及び患者さんへの食事ケアを通し、変化する病状に合わせた食事のあり方、満足度の向上を図る食事の提供を検討したので発表させていただきました。

食事のアプローチを考える上で重要な事項として①病状、食生活状況、精神状態等の把握をする。②家族から患者さんの情報を得る。③患者さんの嗜好を優先させる。④臭い、温度等配膳時間の環境を確認する。⑤患者さんの病状に見合った調理法、盛り付けの工夫をする。⑥患者さんに合った食事量を提供する。⑦食器に配慮する。等が考えられました。

刻々と変化する患者さんに対し少しでも食事に対する負担を軽減させ、生きる喜びのひとつになる様、医療スタッフとの連携を密接にとりながら、これからも努力していきたいと思ひます。

院研究発表会として一般公開することで、当院・地域住民・他施設との交流の場を提供して頂きました。

今回で十一回目を迎えるこの催しは、特別講演に映像作家の吉川透氏を迎え、映像の専門家から医療を語って頂きました。研究発表の部では、例年通りの各職域から臨床工学科・栄養科の発表と、職域を越えて活動している緩和ケア研究会・マナー委員会と新たな分野からの発表を頂き、より新鮮な発表会を開催出来たことに感謝申し上げます。

ホスピタルマナー委員会 での取り組みできたこと その効果

ホスピタルマナー委員会 佐々木恵美子



平成七年度厚生白書で医療はサービス業であると明確に位置づけられた。当院では平成六年、年頭の指針に病院における接遇があげ

臨床工学科における 安全管理対策について

臨床工学科 長谷川知美



【目的】臨床工学科では血液浄化業務における更なる安全の向上を目的に、安全対策委員会が企画した事故状況報告書を活用し、原因の分析や安全対策並びに安全教育などに取り組んでいる。今回、この報告された事例に対し統計的分析・評価を行い、それを基に具体的な業務改善を立案し実施したので報告する。

【方法・対策】平成十二年度の事例からインシデント・アクシデントの種類・原因や割合について集計し評価を行った。この分析から業務改善として、各施設の人員の固定配置化、リーダーの各業務（機械番、午前・午後・夜間番、出張番）担当スタッフへの指示監督の徹底を図った。機器の安全性向上やヒューマンエラー防止では

フェイルセーフやフルプルーフのシステムを採用した。マニピュルが有効活用されているか再検証を行った。

られ、同年四月にホスピタルマナー委員会が発足した。病院に於ける接遇向上を目的に取組んでいた七年間を振り返り、年度別の取組み目標と内容をまとめた。

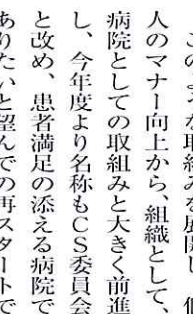
①平成六年度よりビジネスマナー研修を組み込んだ集合新人オリエンテーション開始
②院内での接遇向上の研修会・勉強会の実施
③他施設見学
④外部講師を招いてセミナー実施
⑤各部署でのトラブル事例を活用し改善検討

【結果】血液浄化累計件数に対してのインシデント・アクシデント発生率は0.05%で、その種類は装置運転時のトラブルが多くを占め、原因は不注意や思い込みなどヒューマンエラーによるものが殆んどであった。業務改善の結果、スタッフ間の意思疎通がよくなり指示事項漏れなどのトラブルが減少した。フェイルセーフでは、血液回路ラインのダブルベアン方式やカニューレ接合部のロック固定法を採用、透析液濃度を電解質と伝導度の両方からチェック、空気から生食充填返血法の変更を行った。フルプルーフでは除水設定や穿刺部のダブル確認、各担当当番業務マニピュルのチェックリストを追加。報告・連絡を午前と午後でリーダーへ電話で報告するようにした。このような業務変更により、安全に対する認識が深まりヒューマンエラーの度合いに改善がみられた。

【結論】安全対策には、インシデントがアクシデントにつながるフルプルーフやフェイルセーフの概念を取り入れることで、より安全性が向上するものと結論する。

玄々堂君津病院における 緩和ケアの取り組み

緩和ケア研究会 看護婦 織本廣子



近年緩和ケア病棟やホスピスなど、終末期を迎えた患者さんに対する施設が増えているが、まだまだ一般病院で亡くなる患者さんが多いのが現状。当院でも終末期ケアにおいて、苦痛を取り除き、最期までその人らしい生活が送れるよう援助する為平成十年八月に緩和ケア研究会を発足した。今回は、患者さんの痛みを把握して、その援助をしやすくするために疼痛コントロールマニュアルを活用した事例を報告した。痛みの強さを把握する為痛みを十迄の数値で患者さん自身が表し客観的に痛みの観察が出来、適切な対応が出来る様になった。痛みが上手くコン

【目的】緩和ケア病棟やホスピスなど、終末期を迎えた患者さんに対する施設が増えているが、まだまだ一般病院で亡くなる患者さんが多いのが現状。当院でも終末期ケアにおいて、苦痛を取り除き、最期までその人らしい生活が送れるよう援助する為平成十年八月に緩和ケア研究会を発足した。今回は、患者さんの痛みを把握して、その援助をしやすくするために疼痛コントロールマニュアルを活用した事例を報告した。痛みの強さを把握する為痛みを十迄の数値で患者さん自身が表し客観的に痛みの観察が出来、適切な対応が出来る様になった。痛みが上手くコン

トロールされている時は、その人らしい生活への援助が出来た事を報告した。治療を期待出来なくなつた患者さんに対して身体的、精神的、社会的な苦痛を取り、その人らしい生き方を援助する事の必要性を学ぶと共に、今後の課題ともなった。

総評

化学療法や終末期の患者さんにおいしい食事を提供したい、苦しみのない終末期を迎えさせてあげたい、安全に透析を受けられるようにしたい、患者さんと職員が気持ちよく交流する病院にしたいなど当院が近年目指し、各種委員会、グループ研究会などで勉強し、実践してきたことをそれぞれの専門

必ず相手がいるから（壁打ちは別として）ボールが返って来ますよね？それって一つのコミュニケーションなんだと思いませんか？だから楽しい！

もつと早くテニスを始めてくれれば良かったと思いますが、遅く始めてもその時点がスタートだと思えばそれでいいです。



スポーツの秋！芸術の秋？

家、ベテランが背景や動機、明確な目的と工夫された方法、出来るだけ客観的な評価・実例など、ダイナミックにコンピュータを駆使し、誰にも分かりやすい発表方法で聴衆に共感と感銘を与えた。専門的活動が病院全体に受け入れられた大きな一歩であった。※発表会当日の役職名で記載しております。

- ◆実行メンバー
- 実行委員長 杉 春彦
- 実行委員
- 木村純子 長谷川民世
 - 斎藤千恵 西井 大輔
 - 有岡政輝 竹井由美子
 - 山本敬子 田中しのぶ
 - 桐谷陽子 小番 昌子
 - 山口 稔 大神ヨシ子

ばい浴びて、すっごく気持ちいい！おかげさまで真っ黒に日焼けしているけど、好きなことをやっているのだからしょうがないですね。でも、やっぱりマズイかしら？もう充分シミの気になる年なので・・・

②思いっきり「からだ」を動かして、汗を流すこと。

テニスでかいた汗でサラサラなイメージなのは私だけでしょうか？

③テニスを通じて老若男女問わず、交友関係がグッと広がったこと。

テニスの魅力は①太陽の光いっ

特別講演 『生と死は隣り合わせ』

日本産業映画ビデオコンクール教養部門受賞作品 「末期患者と家族への対応の配慮—死を学ぶ—」上映と合わせて



映画監督 エッセイスト 吉川 透先生

吉川先生は、映像に関わる体験を通して、まさに生と死の隣り合わせであったり、生と死の隣り合いの不思議について、例を挙げて話された。

●暴走していた命の恩人…バイク事故で死亡と判定された青年が、病院に運ばれた時に息を吹き返した。実は、搬送途中にいきなり飛び出してきた暴走車に急ハンドルで対処したときのショックであり、その時逃げ去った生命の恩人に感謝の気持ちを伝えるすべはないのだと。この暴走ドライバーは、交通規則に違反している悪い人である。人間は、悪い人から助けられることもある。人が一人では生きられない事実を納得させられるケースである。

●原子炉運転安全基準の蔭の無理心中…アメリカの軍用原子炉で事故が起きた。一挙に三人もの人命が失われ、重さ十六トンもの圧力容器が吹き飛んだ一瞬の破壊力に、当局は実験結果を引き継いで日本がさらに燃料棒の実験を九百本、十五年にわたって実験した結果は、国際的な評価を受け、それによって原子炉運転の世界的な安全基準が確立されることになった。しかし、これほど長い年月にわたる安全の努力のきつかけをつくったのが、一人の男の自殺行為、同僚と妻の不倫を一挙に精算する動機から出た無理心中であ

たという。国家的な重大犯罪者が、国際的な原子力の安全基準作りのきつかけになり、人類の命を守る結果に繋がったのである。

●今のは原子力平和利用の一例だが、原子力が大量殺戮に使われたのが原子爆弾の投下であった。被爆当日、長崎市で十代の郵便配達員であった谷口稔輝さんは、風速三百メートルの爆風に吹き飛ばされ、自転車もろとも道路に叩きつけられた。背中一面に受けた火傷のために一年九ヶ月はうつぶせのまま過ごし、三年七ヶ月で退院出来た。谷口さんのカラー写真を前に、アメリカでは「この少年はこの姿勢のまま死んだ」と説明した人がいた。火傷の跡からは何度もガンができた手術してきたが、五十年後の最近になって、ガンでも腫瘍でもない医者でも判定できない石ころのようなシコリが出来ている。原子爆弾は人類が一度しか経験したことがないので、五十年以上たってもまだ医学的に正確なところが分からない。

その五十年間というものの、死ぬ前にどうしても原子爆弾への異議申立のドキュメント映画を作りたいと執念を燃やし続け、人が坊野貞真さんというプロデューサーであった。その執念はついに五十年後に実を結び、一つの作品「あの日この校舎で—五十年前に被爆したナガサキの記憶—」をこの世に残された。そして本人は作品の完成と社会への旅立ち—文部大臣賞受賞を待っていたかのようになり、授賞式の十六日後に亡くなられた。

そして、本日のメインテーマのビデオ上映と続いた。以下は、患者さんが心をひらく医療 インフォームドコンセントのシリーズから「末期患者と家族への対応の配慮—死を学ぶ—その一 (CureからCareへ)」と題した医療従事者向け教育ビデオからの抜粋である。

ホスピスの医師はこう語った。肺ガンの末期患者を本人・家族の意思のもと、躊躇は有りながら家で最期を迎える事に同意したが、三時間で息を引き取る結果となっていました。「しまった、病院にいればあと三日間ぐらいは…」という自責の念に駆られていた。

葬儀を終えて挨拶に来られた長男の方から、「先生本当にありがとうございました。母は自分の部屋の慣れ親しんだ環境で、三人の孫一人一人の手を握って旅立ちました。何よりも家で最期を迎える事が出来ました。家での三時間は母にとっても我々にとっても、病院の三日間よりずっとずっと貴重でした。」という言葉が頂戴。と同時に、二年前に父親を腎臓癌で亡くし、大学病院で看取った時のつらかった思いをどうとどうと述べられた。ペインコントロールがうまくいってなかった事、臨終際に

家族が病室から出され、蘇生術が施され、その間に父はたった一人で亡くなってしまった等、母の時にはそういう思いをさせたくない、と。「どうも先生方は人生の時間的な延命だけを考えられていて、最期の人生の中心というものをあまり考えておられないんじゃないですか。」(中略)我々もつと人生の中心に目を向けて行かなければならないのではないかと、一般の方々からの批判というか現代の医学に対する一つの提言と受け止めた。

●さらにビデオは、日本医師会生命倫理懇話会の報告書にも明記されているように、これからの医療が、治療不可能から一途に延命の努力へと走るのではなく、適切なケアをしていく方向にギアチェンジしていく必要を訴えていく。しかし、現実はどうケアしたらいいのか？告知していいかわからない、どう話していいかわからない。努力しても回復しないのは、虚しさを抑えきれない。自分を落ち込ませるチャンスを見ようとする。死が怖いので、患者さんを見つめてもらえない。これら医師の本音を乗り越えて大切なのは、末期の患者さんが求めている声に耳を傾けてあげること。担当医からの理解と受容。具体的には、オスラーが提唱しているように、患者さんと同じ目線の高さで話し合うことを勧める。傾聴に大切な構えは、患者さんが抑えている感情や気持ちを読み取り、できるだけ表現しやすいように、手助けしてあげることだ。

家族が病室から出され、蘇生術が施され、その間に父はたった一人で亡くなってしまった等、母の時にはそういう思いをさせたくない、と。「どうも先生方は人生の時間的な延命だけを考えられていて、最期の人生の中心というものをあまり考えておられないんじゃないですか。」(中略)我々もつと人生の中心に目を向けて行かなければならないのではないかと、一般の方々からの批判というか現代の医学に対する一つの提言と受け止めた。

ターミナルケアの真髄である」で、ビデオ「末期患者と家族への対応の配慮—死を学ぶ—その二」を締めくくっていく。

●ビデオ「末期患者と家族への対応の配慮—死を学ぶ—」には、「その二」がありますが、岡山市の保健婦橋本真紀さんは、多くの患者さんの最期を看取ってこれた中で、化学療法を拒否し、在宅ケアの相談にみえられた方が「この静寂が何より嬉しい。人生でもつとも無駄な時間を心静かに過ごしている。家族の心も一つになって、病氣も満更ではないですよ。」と語ってくれたそうです。

緩やかなケアで亡くなった方を見たりお話を聞いたり、人生において、ターミナル期ほど著しい精神的な成長が計られる時期はないのではないかと感じられます。死ぬ間際まで成長していく患者さんの一生で一番大切な時間に寄り添い、心を通わせる事が出来るというターミナルケアをする人間でないといけないので、患者さんを見つめてもらえない。これら医師の本音を乗り越えて大切なのは、末期の患者さんが求めている声に耳を傾けてあげること。担当医からの理解と受容。具体的には、オスラーが提唱しているように、患者さんと同じ目線の高さで話し合うことを勧める。傾聴に大切な構えは、患者さんが抑えている感情や気持ちを読み取り、できるだけ表現しやすいように、手助けしてあげることだ。

●私(吉川)は、この詩を何度も反芻するうちに、人間はターミナルの時期に最も成長するところか、死ぬ間際にはどうとう宇宙の中に吸い込まれていき宇宙と一体化出来るのではないかと同時に、人間はいよいよ死の間際に宇宙に昇天していきけるのすばらしいことは、生きていく人間に伝えられていないので

幾千の葉ずれの音は シンフォニー 通か宇宙の 秘めし轟き

小さな存在でしかない自分は、自分一人の死の恐怖に怯えている暇はないのです。生命という一大潮流の中に生かされていることにひたすら感謝し、自分自身の持てるだけの力を出し切って生きて生かされていくことに、初めて天に昇る力が授かって宇宙と一体化出来るのではないかと期待しているのが、最近の心境であります。

●私(吉川)は、この詩を何度も反芻するうちに、人間はターミナルの時期に最も成長するところか、死ぬ間際にはどうとう宇宙の中に吸い込まれていき宇宙と一体化出来るのではないかと同時に、人間はいよいよ死の間際に宇宙に昇天していきけるのすばらしいことは、生きていく人間に伝えられていないので


医療最前線 ラジオ波による肝臓腫瘍の治療



この針を腫瘍に挿入して治療します

肝臓腫瘍には原発性肝臓癌や転移性肝臓癌があります。肝臓腫瘍は患者さんの個々の病状に応じて最適な治療法を選びました組み合わせで治療する必要があります。以前「ビューマン」にも書きましたが、特にC型肝炎ウイルスが関与する肝臓は、時間的空間的に多発する治療効果が期待してあります。強力な治療法はありますが、すべての腫瘍がRFAで治るわけではありません。手段の一つとしてうまく使っていけば大きな効果が得られると確信しています。ちなみに欧米では肝臓腫瘍のみならず腎臓腫瘍や乳癌にも使用されており、われわれも積極的に治療に導入して腫瘍の治療に役立てていく方針です。

ラジオ波による肝臓腫瘍の治療



病棟診療部長 大崎 慎一

肝臓腫瘍には原発性肝臓癌や転移性肝臓癌があります。肝臓腫瘍は患者さんの個々の病状に応じて最適な治療法を選びました組み合わせで治療する必要があります。以前「ビューマン」にも書きましたが、特にC型肝炎ウイルスが関与する肝臓は、時間的空間的に多発する治療効果が期待してあります。強力な治療法はありますが、すべての腫瘍がRFAで治るわけではありません。手段の一つとしてうまく使っていけば大きな効果が得られると確信しています。ちなみに欧米では肝臓腫瘍のみならず腎臓腫瘍や乳癌にも使用されており、われわれも積極的に治療に導入して腫瘍の治療に役立てていく方針です。

中学生「職場体験学習」に参加して

七月十一日(十三日)の「中学生職場体験」に参加した周西中学校の生徒より、後日お礼のハガキが当院に届いたので、その一部を紹介いたします。

「患者さんを治すことだけでなく環境をきれいにする、ごはんを作る、その他にも色々な裏方の仕事があることがわかりました。」

(富松 史織) (目黒 雅彦)

「患者さんと接する時の態度や注意等、日常とは違うことばかりでした。」(中川 千恵美)

「職員の方々が同じ目的を持ち、一人一人が責任を持って働いている姿に感動しました。」(佐藤 奈緒) (飯川 雄) (黒崎 将仁)

第一回『こくごじゅく』開講

平成十三年七月二十六日、院長湯城CS委員長による「こくごじゅく」が開講した。一回目の今回は、つい使ってしまう尊敬語と謙譲語の違いなどの例を挙げて、楽しくディスカッション形式で行われた。

例題

- ①「○○みたいな者には厳しくしないとだめだ。情けは人のためならずと言うじゃないか。」...これっておかしい、おかしくない?
②大舞台は「だいぶたい」それとも「おおぶたい」では、大地震、大震災は「おお」、「だい」どっち?
③a「わざわざ出てきてもらってありがとうございます」、b「とんでもございません」、これっておかしい、おかしくない?

君津市民ふれあい祭り 当院 特別賞受賞



8月5日、第6回君津市民ふれあい祭りが開催され、当院からも総勢90名が参加した。47連、4735人参加するなか、当院は見事「特別賞」を受賞した。

人事往來

異動

- 2階病棟 樋口 千恵子 (集中治療室)
3階B病棟 米内山 広恵 (看護部長室)
4階病棟 山上 聡子 (看護部長室)
村田 美紀 (看護部長室)
透析室 宮島 雅代 (看護部長室)
経理課 山本 敬子 (外来医事課)
堀川クリニック 小林 洋子 (透析室)
赤坂 桂子 (看護部長室)
高木 のぶ (入院医事課)

新入職員

- 看護婦 日生 美由紀 (9月3日~)
ナースイデ 江澤 真衣 (8月6日~)
隈元 淑美 (10月1日~)
保育士 鈴木 恭子 (9月25日~)

* ()内は旧所属部署

結婚・出産

結婚

()内は旧姓

- 平成13年
7月 田代 沙織 (鈴木)
8月 山下 智美 (鶴岡)
9月 斉藤 久美 (川名)

赤ちゃん出産

()内はベビーの名前

- 平成13年
9月 杉本 美葉 (花梨)

※7~9月届出分。前回掲載分を除く。

木更津クリニック納涼祭

八月九日、第六回納涼祭が木更津クリニックで開催された。今年も大勢の参加者の中、患者さんよりお借りした豪華なカラオケステージが設置され、カラオケやピニング大会で盛り上がった。



焼そばおいしいヨ!

病院実習 受け入れ状況

Table with columns: 担当科, 期間, 人数, 学校名. Lists hospital internship acceptance details for various departments like 看護部, 医事科, 栄養科, etc.

感染委員会から インフエクションコントロール発行
感染委員会から「インフエクションコントロール」(感染管理)情報紙が発行されている。主に委員会の活動内容を伝えることを目的に、平成十二年五月より、年二回のペースで発行されている。

新人オリエンテーション
七月二十四日、君津メディカルスポーツセンターにおいて、四月に入職した職員を対象に研修が行われた。グループワークを通して同期生と語り合い、仲間の輪を広げると共に、悩みや今後の課題について話し合い有意義な時間を過ごした。



パールブリッジ

サブタイトルは “パールブリッジ”

神戸と鳴門を結ぶ本州四国連絡橋は、景勝「舞子の浜」から明石海峡、淡路島を経由して、鳴門海峡を渡る全長八九kmのルートです。『舞子の浜』から明石海峡を渡り、淡路島と結ぶ明石海峡大橋は中央支間(塔と塔の距離)が一九九m、主塔の高さは海面から約三〇〇mあり、世界一長い吊り橋、世界一高い吊り橋として、ギネスブックの認定を受けています。工事中の一九九五年一月十七日に起きた阪神・淡路大震災の影響で建設中の明石海峡大橋は主塔基礎の間に約一m伸びましたが、深刻な損傷もなく、その強靱性が実証されました。厳しい自然条件に耐えるべく橋梁技術の粋が集められており、風速は八〇m、地震はマグニチュード八・五まで耐えうるそうです。因みに阪神・淡路大震災はマグニチュード七・二でした。

編集後記

●秋の夜長、月を見て虫の声に耳を傾けながら... (杉谷)
●スポーツの秋です。でもその前にエアウオーカーの足台にリモコンを置くのを止めない! (津田)
●段々秋になってきました。食欲の秋。私の場合季節物ではないようです。 (佐生)
●人生に活気がない... (小山)
●2度目の北海道。今度はどうな旅になるのだろうか...? (中村悦)
●もちろん、食べて、飲んで、騒いで、暴れて...? (中村恵)
●待ちに待った夏だったのに。アツという間だった。 (立石)
●今年もあと少し! ラストスパ! (天野)
●皆さん、キャンセル等の変更はできるだけ早めにお願します! (平野)
●ちょっとした一言に感動したり、動揺したり、落ち込んだり...。言葉の持つ力の大きさを改めて感じました。秋ですね。 (住沢)
●危機管理に感性を高めましょう。 (山口)
●ニューヨーク貿易センターテロ事件犠牲者の方の冥福を祈りたいとおもいます。世界中すべての人々の命が同じように尊重される日がくることを願ってやみません。人類という生物はこれからも愚かな歴史を繰り返すだけなのでしょうか... (大崎)

Table with columns: (月), (火), (水), (木), (金), (土). Contains clinic hours and doctor names for various departments.

玄々堂君津病院 10月 外来担当医師診療予定

10月のお知らせ

- 清水Dr (神経内科)の予約診察日は10月2日(火)午前です。
尾野Dr (神経内科)の予約診察日は10月12日・19日・26日(金)午後です。10月5日(金)休診となります。
高幣Dr (整形外科)は10月2日・16日(火)午後休診となります。
竹田Dr (循環器科)は10月2日(火)午後休診となります。
本田Dr (循環器科)は10月6日(土)休診となります。
*診察室入口に担当医師名を表示してあります。予約診察の方は予約医師・一般診察の方は希望医師の前でお待ち下さい。

【第4回生活習慣病教室】

テーマ: 骨粗鬆症について
講師: 診療技術部長 荻野 良郎 Dr
日時: 10月27日(土) 16:00~17:30
場所: 第一会議室

- 1. 外来担当医師診療予定は、毎月初めに発行されます。
2. 一般診察医師予定に関しては、変更になる場合がありますので、当日確認してからご来院ください。